

吉見町教育大綱

(平成30年度～平成33年度)

◎基本理念

「学びと絆を深める人づくり」

「新しい時代を担う人づくり」の実現に向け、「豊かな心をもち一人ひとりに輝きのあるまち」を目標に、子どもたちがふるさとを愛し、心豊かに育つよう、学校、家庭、地域が連携した教育環境づくりを進めるとともに、誰もが自主的に学習・スポーツ・ボランティアに取り組める環境を整備するため、本町の教育行政の基本的な考え方として基本理念を掲げます。

◎基本目標

I 確かな学力を基盤とした自立する力の育成

子どもたちが基礎的・基本的な知識や技能を確実に取得し、それらを活用し自ら考え、判断し、表現することにより主体的・対話的で深い学びを身に付けさせるとともに、伝統と文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質や能力を身に付けグローバル化の進展や情報化など社会の加速的な変化に対応した教育を推進します。また、キャリア教育や幼児教育、特別支援教育を推進し、子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力を育みます。

II 豊かな心と健やかな体の育成

道徳科による道徳教育の一層の推進や読書活動、あいさつ運動、体験活動の充実などにより、子どもたちに豊かな心を育むとともに、教育相談体制を充実させ、関係機関と連携し、いじめや不登校等の未然防止に努めます。また、健康の保持増進や体力の向上などにより健やかな体を育成します。さらに、子どもたちが事故や事件を予見し、対応する能力を育成します。学校給食に地場産の食材を活用して食育を推進します。

Ⅲ 質の高い学校教育の推進

指導力と人間性を備えた教職員の資質の向上に努めるとともに、子どもたちの安心安全の確保、学習環境の整備・充実のため学校施設の改修、ICT環境等の教育諸条件の整備・充実に取り組みます。また、保育園、小・中学校と連携し環境変化に対応した教育活動を推進し、子どもたちの安心安全の確保のため、学校・家庭・地域が連携した学校安全体制を推進します。

Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

学校・家庭・地域の連携を深め、いちご学習ノート（小学校）・稲穂学習ノート（中学校）を活用して基礎・基本を徹底的に習得させ、学力の向上に努めます。基本的な生活習慣や倫理観、自制心や自律心などを身に付けさせることのできる家庭づくりを目指し、各種事業をとおり家庭・地域の教育力の向上を図ります。また、学校と家庭・地域が連携した子どもたちの見守り活動を推進します。

Ⅴ 生涯学習とスポーツの推進

町民みんなが明るく豊かで活力に満ちた生活を実現するため、さまざまな学習機会を提供し、生涯にわたって学べるまちづくりに努めます。質の高い芸術作品にふれる機会を増やすとともに、町民の芸術・文化活動の推進を図り、また、歴史・伝統・文化を理解し次世代に守り伝えるため、貴重な文化財の保存・整備・活用を推進し、松山城跡の公有地化事業を進め、整備計画について検討します。町民が、年齢や体力、適性に応じて主体的に参加できるスポーツ・レクリエーション活動の振興に努めます。

また、生涯学習施設やスポーツ施設について利便性の向上を図るため適正な維持管理を行うとともに利用促進に努めます。